

## 6 集合研修

### 集合研修の日程

- ・集合研修では、連続3日間の講義・演習を受講いただきます。
- ・集合研修は令和6年7月～令和7年1月のあいだに設定する予定です。詳しい日程は、受講決定時に書面にてお知らせいたします（受講決定前はお案内できませんのでご了承ください）。

### 集合研修の出席回について

- ・受講お申込み時に、スクーリングの希望日程は承れません。
- ・本学院が指定する日程をご確認いただき、万が一、勤務状況、ご家庭の状況等と都合がつかない場合は、『集合研修出席回変更願』（ハガキ）により出席回を変更していただきます。
- ・『集合研修出席回変更願』は、中央福祉学院HPに掲載する「学習の手引詳細版」に含まれます。

### 集合研修時の宿泊について

宿泊は研修会場に併設のロフォス湘南が便利です。受講者には、別途ロフォス湘南への宿泊や期間中の食事等各種プランをご案内します。もちろん通学でも構いません。

### 集合研修出席について

授業の妨げとなったり、他の受講者に迷惑を及ぼす行為や態度がみられる場合には、受講者の所属長へ報告し、善処を求め、そのうえで、退室や受講中止の措置を講じる場合がございます。なおその場合でも、受講料やスクーリング参加に伴う諸経費は返金できませんのであらかじめご了承ください。

### 集合研修の会場

中央福祉学院（ロフォス湘南）

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44

TEL:046-858-1355 FAX:046-858-1356

★アクセス方法は、下記またはホームページ (<https://www.gakuin.gr.jp/>) でご確認ください。

### 交通のご案内

#### 電車・飛行機ご利用の場合

- JR東京駅から逗子駅までJR横須賀線利用で約1時間
- JR新横浜駅から京急汐入駅まで横浜市営地下鉄利用（京急横浜経由）で約50分
- JR新横浜駅から逗子駅までJR横浜線・横須賀線利用で約50分
- 羽田空港から京急汐入駅または京急逗子・葉山駅まで京急蒲田経由で約60分

#### 「ロフォス湘南」最寄りの駅よりバスをご利用の場合

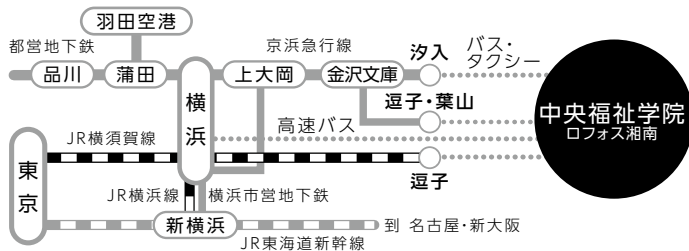
- JR逗子駅または京急逗子・葉山駅からロフォス湘南まで**路線バス**利用で約25分
- 京急汐入駅からロフォス湘南まで**路線バス**利用で約30分
- JR横浜駅東口（YCAT）からロフォス湘南まで**高速バス**利用で約45分

#### お車ご利用の場合

- 「横浜横須賀道路」逗子インターチェンジから  
逗葉新道・三浦半島中央道路（トンネル）経由で約15分



アクセス方法・所要時間等の詳細は本学院ホームページにてご確認ください。



## 7 申込期限

令和6年4月8日（月）〔都道府県・指定都市・中核市社会福祉研修主管部（局）に必着〕

## 8 申込方法

- (1) 申し込みは以下の手順でお願いします。
- ① 受講案内に添付された「受講申込書」に必要事項をみれなくご記入ください（受講希望者が複数の場合は、受講申込書をコピーしてご利用ください）。記入にあたっては、9ページをよくお読みください。
  - ② 「受講申込書」を都道府県・指定都市・中核市社会福祉研修主管部（局）長宛に提出してください。各社会福祉研修主管部（局）の問い合わせ先は、中央福祉学院ホームページ（「社会福祉主事資格認定通信課程（公務員課程）」ページ）に掲載しております。提出先は中央福祉学院ではありません。
  - ③ 記入内容について問い合わせを行う場合がありますので、勤務先にて必ずコピーを1枚保管してください。
- (2) 申し込みにあたっての留意事項【必ずご確認ください】

- ① 本通信課程は、1年間にわたる通信授業による学習とスクーリング（動画視聴および本学院が指定する連続3日間の集合研修）の修了が必要になります。受講希望者の勤務状況、費用負担、ご自身の健康状態、ご家庭の状況等を十分にご検討いただいたうえでお申し込みください。
- ② 以下に該当する場合は申し込みの受付ができません。
  - ・受講資格に該当しない場合
  - ・申込書に未記入の項目がある場合（任意記入項目を除く）
  - ・本年度以外の申込書用紙を使用した場合
  - ・「受講申込書」に受講申込者（所属長）の役職・氏名の記入および公印がない場合
- ③ 選考は先着順ではありません。

## 9 選考結果の通知

- (1) 中央福祉学院において選考を行い受講の可否を決定します。選考結果は 令和6年5月下旬に受講申込者（所属長）ならびに受講希望者宛に通知します。なお、選考方法等に関するお問い合わせにはお答えできません。
- (2) 選考結果は、受講希望者ごとに勤務先に郵送します。6月1日を過ぎても通知が届かない場合は、中央福祉学院までご連絡ください。
- (3) 学習期間が6月1日から始まるため、テキスト等の教材も同時期に発送します。（選考結果とは別便で届きます。）

## 10 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方に社会福祉主事資格認定通信課程の修了証書を交付します。
- (2) 修了要件は以下のとおりです。
  - ① 通信授業の全科目に合格すること
  - ② スクーリングを修了すること
  - ③ 修了テストに合格すること
- (3) 修了証書の交付時期は、令和7年4月上旬の予定です。修了日は、令和7年3月31日となります。
- (4) 令和6年度中に修了要件を満たせなかった場合、次年度（令和7年度）に限り受講期間を継続して通信授業（修了テスト含む）およびスクーリングを受講できます。（未修了科目数に応じた継続受講料を納入いただきます。）

## 11 個人情報の取扱いについて

受講者の皆様に関する個人情報は、①全国社会福祉協議会中央福祉学院が行う研修の受講者台帳の作成、研修テキストや各種資料の送付、スクーリング等で配布する受講者名簿の作成、履修状況管理、研修修了後の修了証明書の発行等の研修事業関連、②全国社会福祉協議会もしくは全国社会福祉協議会を構成する各種組織が行う研修事業および出版物に関するご案内のみの目的で使用し、他の目的で使用することはありません。

その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、ホームページに掲載しています。

<https://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

## 12 社会福祉士通信課程短期養成コースについて

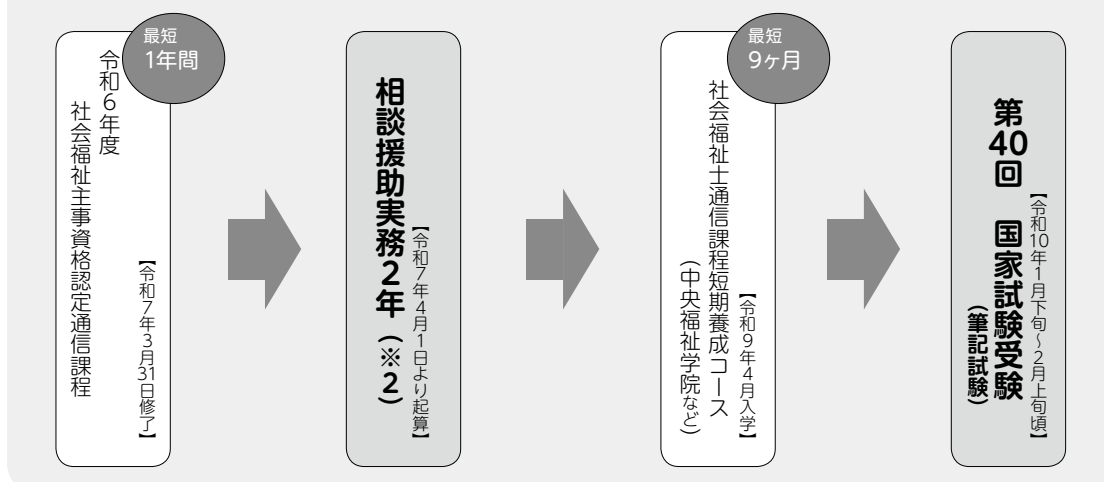
・本課程修了者の中から下記のような志望動機をもつ多くの方が、本学院の社会福祉士通信課程短期養成コースを受講されています。

- 社会福祉士通信課程の学習を通じ、ソーシャルワーカーとしての力量を高めたい
- 地域の支援策を検討する際、通信課程の勉強により視野を拡げ、発想を豊かにしたい
- 他の行政機関や施設や社協など多業種の人と共に演習で学び、地域全体での連携・支援をより具体的に勉強したい

本課程修了後、福祉事務所の現業員・ケースワーカー、特別養護老人ホームや老人デイサービスセンターの生活相談員など所定の相談援助業務に2年以上従事すると、社会福祉士通信課程短期養成施設の入学資格を得ることができます。本学院でも社会福祉士短期養成コースを実施していますので、主事資格取得後のさらなるキャリアアップを見据えた継続的な学習を計画いただけます。

※下図は、本学院で社会福祉主事を取得後、条件を満たした方が、最短3年以内で社会福祉士を取得するためのルート図を示しております。

(参考) 社会福祉士までの資格最短ルート図 (※)



※指定施設における相談援助業務についての詳細、または上記ルート以外の社会福祉士の資格取得方法については、「社会福祉振興・試験センター」のホームページ (<https://www.sssc.or.jp/>) をご覧ください。

## 【別表1】 学期別履修科目内容（予定）

学期	科目	主な内容
第1学期	社会福祉概論Ⅰ	現代における社会問題と社会構造、社会福祉の全体像、専門職、思想・哲学、理論、福祉政策の基本的な視点・構成要素と過程、ニーズと資源、国際比較、福祉サービスの供給と利用の過程、社会福祉の歴史 等
	社会福祉概論Ⅱ	福祉サービスの特質と理念、福祉サービス発展の経緯と地域共生社会、福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割、福祉サービス提供組織の経営理論と経営体制 等
	心理学	人の心理学的理解、人の成長・発達と心理、日常生活と心の健康、心理的支援の方法と実際 等
	医学一般	人の成長・発達、人体の構造と機能、健康のとらえ方、疾病の成り立ち及び回復過程、人間の行動と生活機能、リハビリテーション、公衆衛生、保健医療の動向、医療保険制度、診療報酬制度、保健医療対策、医療施設、保健医療における倫理、保健医療領域における支援の実際 等
第2学期	社会福祉援助技術論Ⅰ	ソーシャルワークとは何か、ソーシャルワークの基盤となる考え方、ソーシャルワークの対象と担い手、ソーシャルワークの歴史的発展過程 等
	社会福祉援助技術論Ⅱ	ソーシャルワーク展開過程の全体像、ソーシャルワークの展開過程、ソーシャルワークの実施、ソーシャルワークを支える要素 等
	介護概論	介護の目的、介護を必要とする人々と地域共生社会、介護と保健・医療との関係、支援関係の基本、コミュニケーション技術、介護過程、生活支援技術の基本 等
第3学期	老人福祉論	高齢者の生活と社会、高齢者福祉の理念と発展過程、介護保険制度の概要、地域共生社会と地域包括ケアの推進、高齢者と家族等への支援の実際 等
	公的扶助論	現代社会と公的扶助、生活保護制度の概要と実務、生活保護における相談援助と自立支援、生活困窮者自立支援制度、生活福祉資金貸付制度、ホームレス状態にある人々への支援 等
	地域福祉論	地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題、地域福祉の主体と形成、地域福祉の概念と理論、地域福祉の発展過程とこれから、福祉行財政システム、福祉計画の意義と種類、包括的支援体制の構築、包括的な支援とソーシャルワーク、災害時における支援体制 等
	社会保障論	現代社会における社会保障制度の現状と課題・概念・対象・理念、社会保障と財政、社会保険と社会扶助、年金保険・医療保険・労働保険・社会福祉制度・社会手当制度等の概要 等
第4学期	児童家庭福祉論	児童家庭福祉の理念、子どもの人権・権利保障、児童・家庭の生活実態とこれを取巻く社会環境、児童家庭福祉制度における組織及び団体の役割、児童家庭福祉の支援の実際 等
	障害者福祉論	障害の概念と障害者の実態、障害者福祉の理念、障害者福祉の歴史、障害者に対する法制度、障害者と家族等に関する支援の実際 等
	法学	法の基礎、ソーシャルワークと法のかかわり（憲法、民法、行政法）、権利擁護と成年後見制度、刑事司法と福祉 等
	社会学	現代社会の理論、人口の構造と変化、健康と社会、家族とジェンダー、生活とライフコース、災害と復興、地域社会とその変容、社会問題とマイノリティ、福祉国家と福祉社会、グローバル化する世界、社会調査の基礎 等

## 【別表2】 法人区分コード一覧

コード	法人区分	コード	法人区分	コード	法人区分
01	行政	17	協同組合	39	その他公益法人
02	一部事務組合	18	宗教法人	51	株式会社
03	独立行政法人	21	一般社団法人	52	有限会社
09	その他公法人	22	一般財団法人	53	合同会社
11	社会福祉法人	23	公益社団法人	54	合資会社
12	医療法人	24	公益財団法人	69	その他営利法人
13	特定非営利活動法人（NPO法人）	25	社会医療法人	99	その他
16	学校法人	26	特定医療法人		